

『VIEW21』高校版・2018年度「実践AL」単元の指導計画

【教科・科目】	英語・コミュニケーション英語Ⅱ
【単元・作品】	Chapter4 『The Fight for Rights』
【設定時数】	全7時間の中の1時間目
【単元目標】	人種差別についての歴史を理解し、「人権」について自分の意見・考えを英語で表現できる。

時数	学習内容	身につけさせたい資質・能力	授業の流れ	教師の配慮	評価方法
1	Part1 アメリカで人種差別がなくなっていったきっかけ	①リスニング・リーディングを通して、Part1の内容を理解できる。【知識、技能】 ②ローザの立場になって考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力、協働性】	①アメリカでは人種差別が行われていた事実を知り、差別解決のきっかけをつくった人物について学習することを学ぶ。 ②リスニング・リーディングを通して、Part1の内容を理解する。 ③自分がローザの立場だったらどうしたのかを話し合う。 ④自分の意見を「think & writeノート」に書く。	【主体的な学び】画像を用いた導入で、人種差別の歴史について興味・関心を持たせる。コミュニケーション活動後の自己評価シートへの記入。 【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れ、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】登場人物の立場になって考えさせる。様々な意見を発表させ、教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワードカウンター ・ワークシート ・think & writeノート
2	Part1 と、Part2 ローザの事件と黒人解放運動の始まり	①Part1で出てきた表現を理解できる。【知識】 ②本文の意味を意識しながら、音読活動ができる。【技能、表現力】 ③ローザがバスの席を立たなかった理由について、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力】	①Part1で用いられている新出の英語表現の解説を聞く。 ②意味を意識しながら、音読活動を行う。 ③Part2の前段階として、ローザがバスの席を立たなかった理由を考え、意見を発表し合う。	【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れ、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】登場人物の立場になって考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワークシート
3	Part2 ローザの事件と黒人解放運動の始まり	①リスニング・リーディングを通してPart2の内容を理解できる。【知識、技能】 ②当時の黒人の立場になって考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力、協働性】 ③Part2で用いられている表現を理解できる。【知識】 ④本文の意味を意識しながら、音読活動を行うことができる。【技能、表現力】	①リスニング・リーディングを通してPart2の内容を理解する。 ②自分が当時の黒人だったら、ボイコットに参加したかどうかについて話し合う。 ③Part2で用いられている新出の英語表現についての解説を聞く。 ④意味を意識しながら、音読活動を行う。	【主体的な学び】コミュニケーション活動後の自己評価シートへの記入。 【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れ、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】登場人物の立場になって考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワークシート
4	Part3 公民権運動の成功	①キング牧師が多くの人々を集めて、集会を開いた理由について考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力】 ②リスニングやリーディングを通してPart3の内容を理解できる。【知識、技能】 ③投票権を獲得した黒人の気持ちについて考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力、協働性】	①Part3のプレ活動として、キング牧師が集会を開いた理由について考え、自分の意見を発表し合う。 ②リスニング・リーディングを通してPart3の内容を理解する。 ③投票権を獲得した黒人の気持ちについて話し合う。	【主体的な学び】コミュニケーション活動後の自己評価シートへの記入。 【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れることで、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】登場人物の立場になって考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワークシート
5	Part3 公民権運動の成功 Part4 ローザから若者へのメッセージ	①Part3で用いられている表現を理解できる。【知識】 ②本文の意味を意識しながら、音読活動を行うことができる。【技能、表現力】 ③ローザが自らの行動を通して伝えたかったメッセージについて考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力】	①Part3で用いられている新出の英語表現の解説を聞く。 ②意味を意識しながら、音読活動を行う。 ③Part4の前段階として、ローザが自らの行動を通して伝えたかったメッセージを考え、自分の意見を発表し合う。	【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れることで、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】登場人物の立場になって考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワークシート
6	Part4 ローザから若者へのメッセージ	①リスニング・リーディングを通してPart4の内容を理解できる。【知識、技能】 ②「差別をなくすために自分たちができること」について考え、自分の意見を表現できる。【技能、思考力、表現力、協働性】 ③Part4で用いられた表現を理解できる。【知識】 ④本文の意味を意識しながら、音読活動ができる。【技能、表現力】	①リスニング・リーディングを通してPart4の内容を理解する。 ②「差別をなくすために自分たちができること」について考え、話し合う。 ③Part4で用いられている新出の英語表現についての解説を聞く。 ④意味を意識しながら、音読活動を行う。	【主体的な学び】コミュニケーション活動後の自己評価シートへの記入。 【対話的な学び】ペアワークを多く取り入れ、スピーキング・リスニングの機会を増やす。コミュニケーション活動では、自己評価シートの項目を意識させる。 【深い学び】「人種差別の歴史」から「身近に存在する差別」に話を移し、「差別」を自分たちの問題として考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。	・ワードカウンター ・ワークシート ・think & writeノート
7	まとめの英作文	①「差別をなくすために自分たちができること」について、クラスメートの意見を理解できる。【技能、多様性、協働性】 ②「差別をなくすために自分たちができること」について、自分の意見を80語程度で書くことができる。【技能、思考力、表現力】	①ペアワークグループワークークラス全体での発表(グループ代表者)といった流れで、前時に考えた「差別をなくすために自分たちができること」を共有する。 ②「差別をなくすために自分たちができること」について、自分の意見を80語程度で書く。	【主体的な学び】「差別をなくすために自分たちができること」について多様な考え方があることを知る。 【対話的な学び】ペアワークグループワークークラス全体での発表(グループ代表者)といった流れで意見を共有し、自分の意見を話したり、他者の意見を聞いたりする機会を増やす。 【深い学び】「差別」を自分たちの問題として考えさせる。様々な意見を発表させ、それを教師が板書し、多様な考え方があることを学ぶ。 ・様々な意見を参考に自分の考えをまとめ、書くことで自分の意見を整理する。	・英作文